

隣にいる仲間を想う

～在日外国人と日本人は国籍・民族を超えていけるか～

第36回

林慶一

●それぞれの闘い方がある。社会人二年目の受難。その4

いながら、ヨンスはスキャナー課に配属されたばかりの頃の中華料理店での足立さんたちとのやりとりを思い出していました。

「オシがやるよりキムしゃんを戻した方が絶対いいですよ。メイン」向いている。正直言つとオシはシタッチに戻りたい」

ヤマトは今回の人事異動にヨンスよりも不満を持っているようでした。そして、異動の撤回を求めて社長に直談判だ、と主張しました。「撤回じゃないだろ、あくまでも内示の段階だったんだから。…実はオシも責任を感じている。キムしゃんを後継に推すことを伝えるときに佐賀さんが変な受け取り方をしたのか、石田課長のところでおかしくなったのか」

一時期は自暴自棄になっていました。スキャナー課に来て一ヶ月以上経った今は、情熱を徐々に取り戻しつつありました。作業がひと段落して休憩室に向か

る、と言いました。足立さんは、「キム君はどうしたい？」と聞きました。ヨンスは、自分はいったい何をしたいのだろう、と自問しました。担当業務の倍率測定は、単純ではあるけれどとても重要な作業工程で、これがないと次の工程に進めないのは理屈ではわかっていました。しかしヨンスはどうしても集中してこの仕事に取り組みることができないでいるのです。自分の気持ちをとことん掘り下げて見つめようとしてみましたがうまく整理できませんでした。

「異動取り消しを求めて直談判でいくか、別の角度から行動を起こすか、このまま様子を見るのもまた一つの方法。道はたくさんある」

闘いとは大げさな、とヨンスは一瞬笑いかけてました。足立さんや大林さんが、ヤマトの真剣な目を見るとやはりこれは闘いなのか、と重い気持ちになりました。しかしその重さは決してイヤなものではなく、緊張感がともなった心地よい重さでした。(つづい)

「新型コロナウイルス 一日の感染者数が本市過去最多(1月20日現在)」

組合員の安全や市民生活のライフラインを止めないためにも、改めて「手洗い」「消毒」「マスクの適切な着用」等の感染症対策の徹底をお願いいたします。

直営をやる

仲間達 (366)

宮前分会

- ① 年齢：46歳
- ② 入庁年度：1993年度
- ③ 分会役：なし
- ④ 職種：業務職
- ⑤ 業務内容：推進業務
- ⑥ 趣味、最近ハマっている事：サイクリング・ゴルフ(練習場のみ)



イタリアの自転車ブランド BIANCHI(ビアンキ)



みなさま、コロナ禍での自粛生活どうお過ごしでしょうか？色々な行事、飲み会などが無くなり、ストリスが溜まっている方も多いかと思えます。

私の生活はコロナ前とあまり変わらない状況ですが、体重が増えてきたので、これはまずいと思い体を引き締める為にサイクリングを始めました。

まずは近場から走ろうと、多摩川サイクリングロードを羽田大鳥居までの往復20kmから。風がとも気持ちよく走る楽しさを知りましたが、辛さも知りました。走る距離を少しずつ伸ばし、最近では同僚から教わった羽村市の阿蘇神社(東京のサイクリストには有名)に、御参りとお守りを買う為に往復70kmを走ってきました。さすがに疲れましたが、とてもゆっくりなペースと景色を楽しみながら何とか完走(体重3kg減、お守りもゲット)する事が出来ました。

少しづつですが、走る距離も伸びてきたのでいつかは100km走破と職場の方と急勾配坂に行けるように、楽しみながら続けていきたいと思えます。ちなみに体重の変化はまだ見られません。

みなさまもコロナ禍での自粛生活のつかれを、サイクリングで気分転換してみたいかがでしょうか？おすすめですよ。





2021「人権週間」

職場研修開催

知ろう 学ぼう 広めよう
みんなで作る明るい未来

標の確認など。

支部長メッセージでは、

清掃支部では、あらゆる差別の撤廃と人権の確立をめざし、気づき、発信できる組合員となるため人権に関する取り組みを行っている。今年もその一環として、支部・局一体となり「人権週間」職場研修が各職場で開催された。それに合わせて支部人権標語を募集し、その中から選考した結果、王禅寺分会、××××さんの標語が優秀標語として選ばれた。

国が定めた第73回「人権週間」の取り組み、清掃職場では各職場でコロナ禍2回目の開催となった。様々な形で集会・研修が行われ、組合員計659人と管理職27人が参加し、各職場のみならずのご協力のもと多くの仲間が集う集会となった。主な内容は、趣旨説明、支部長メッセージ、局長メッセージ、人権職場取組目

川崎市職員労働組合
清掃支部
発行
川崎市川崎区東田町5-1
市労連会館4階
電話 044(222)5906
発行責任者 渋谷 勝美
編集責任者 田中 慎吾



清掃支部ホームページ
QRコード



か、人権はますます重要な課題になってきています。

人権週間職場研修を期に人権について関心を持ち今後の取り組みの糧となってくれば」という言葉が組合員に伝えられた。人権意識向上のための取り組みとしては、分会員が順番で講師となり人権研修を行っている分会、人権学習DVDを視聴する分会など職場それぞれで取組まれる。

支部長メッセージ代読(宮前分会)

局長メッセージ代読(入江崎分会)

一方、2016年から始まった支部人権標語の取り組みについては、今年で6回目を迎えた。多くの組合員に人権について思う機会を設けるための取組みで、今年は72通のご応募を頂いた。

そんな中、12月3日に開催した支部人権部長会議で、ご応募いただいた標語の中から清掃支部人権標語を選定し、王禅寺分会の×

改めて支部としての人権に関する取組みの方向が示され、「グローバル化が進むな

難しいこと、人権が相手と話して感じられるぐらい簡単になる。そんな理想を実現するための標語。様々な人に指摘されながら、自分の周りで自然にある差別や排除に気づくこと。気づける、発言できる組合員になるための取組みとして、職場研修をこれからも続けていければと思う。

×××さんが作った標語が選ばれた。

「知ろう 学ぼう 広めよう みんなで作る明るい未来」。

社会情勢や差別について知り、学び、差別のない社会を広める事で明るい未来を作っていくという考えを標語にしている。

人権というと、「難しいことじゃない、簡単なこと、相手と話して感じるもの」という考えの人もいる。でも、人の姿・形・習性・思考・生き方はそれぞれ違うし、そこに社会の法制度や情勢が絡むものだから、働くという1ページを切り取っても人の気持ちは大変に複雑。私のような世間・社会を何も知らない人にとって、人権を感じることは非常に難しいと思う。

人権が相手と話して感じられるぐらい簡単になる。

集会開催状況②(中原分会)

集会開催状況①(加瀬分会)

分会だより

臨港分会

No.209

みなさんこんにちは。臨港分会です！浮島処理センターは1995年10月の本稼働から早や26年が経過し、当時最新鋭のごみ処理施設と言われた施設も老朽化が進んでいる状態です。

昨年度からは大規模な施設基幹改良工事が行われ、3炉ある焼却炉は1炉ずつ新たな焼却炉として生まれ変わろうとしています。また、外壁の塗装もいたるところが傷んでいるため、建屋の外壁補修工事も始まりました。

これだけ大きな基幹改良工事が行われ、焼却炉自体は新たなものに更新されつつあるのですが、それでも処理センター全体の施設が新しいものになるわけではありません。付帯設備の機器や配管など、老朽化対策の整備はほとんど直営の職員で担われています。

川崎市の計画ではあと15年ほどの浮島処理センターを稼働させると言われています。少しでも長くこの施設を使えるように、環境にやさしい運営(操作)と整備を心掛ける、職員一同がんばって業務に当たっています。これからもよろしくお願ひします。



建屋の外壁補修工事を行う浮島処理センター